

2025年度事業報告書

1 財 団 運 営

全県コンベンション誘致事業及び指定管理事業を効率的かつ確実に実施できるよう、職員研修等の実施による人材育成及び組織体制の充実・強化を推進した。

(1) 理事会・評議員会の開催

①理 事 会

区 分	開催期日・場所	出席役員	議決事項
第148回	2025年5月16日 米子コンベンションセンター	理事6人 監事2人	① 2024年度事業報告 ② 2024年度収支決算報告 ③ 2025年度収支補正予算 ④ 第77回評議員会の招集 ⑤ 職務執行状況報告
第149回	2025年6月4日 ANAクラウンプラザホテル米子	理事7人 監事2人	① 理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の選定 ② 理事長及び常務理事の役員報酬
第150回 (書面)	2025年8月22日	理事7人 (表決数)	① 書面評議員会の招集
第151回	2025年10月30日 米子コンベンションセンター	理事6人 監事2人	① 2025年度上期事業報告 ② 職務執行状況報告
第152回 (書面)	2026年1月21日	理事7人 (表決数)	① 第79回評議員会の招集
第153回	2026年2月24日 米子コンベンションセンター	理事6人 監事2人	① 2025年度収支補正予算 ② 2026年度事業計画 ③ 2026年度収支予算 ④ 諸規程の改正 ⑤ 職務執行状況報告

②評議員会

区 分	開催期日・場所	出席役員	議決事項
第77回	2025年6月4日 ANAクラウンプラザホテル米子	評議員8人 監事2人 理事長 常務理事	① 2024年度事業報告 ② 2024年度収支決算報告 ③ 任期満了に伴う評議員の選任 ④ 任期満了に伴う理事の選任 ⑤ 任期満了に伴う監事の選任 ⑥ 2025年度収支補正予算(報告)
第78回 (書面)	2025年8月29日	評議員9人 (表決数)	① 評議員の補欠選任
第79回	2026年2月25日 米子コンベンションセンター	評議員5人 監事1人 理事長 常務理事	① 2025年度収支補正予算(報告) ② 2026年度事業計画(報告) ③ 2026年度収支予算(報告)

(2) 基本財産に関する事項

①基本財産の状況

2025年度の出捐金受入はなく、投資有価証券の償却原価法適用による加算5,736円を行い、基本財産は972,159,208円となった。

[出捐状況]

(単位:千円)

区 分		2024年度までの 出捐金受入済額 A	2025年度 出捐金受入額 B	出捐金 受入額計 (A+B)	摘 要
行 政	鳥取県	500,000	—	500,000	
	米子市	150,000	—	150,000	
	鳥取市	50,000	—	50,000	
	倉吉市	30,000	—	30,000	
	境港市	20,000	—	20,000	
	市町村振興協会	100,000	—	100,000	
計		850,000	—	850,000	
民 間		122,142	—	122,142	405件 企業・団体・個人
合 計		972,142	—	972,142	

②基本財産の運用

国債(10年利付、20年利付)、地方債、電力債による、基本財産の運用を行った。

2025年度基本財産運用報告書(資料1)

(3) 賛助会員に関する事項

①賛助会費収入額

2026年3月31日現在、ホテル、旅行代理店等コンベンション関連企業143社の加入により、3,020,000円の会費収入を計上した。

②賛助会員の加入状況

[賛助会員の構成及び口数]

業 種 別	会 員 数		口 数	
	2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
ホテル、旅館	32	33	33	34
観光施設・ゴルフ場	13	13	13	13
関連企業	98	99	105	106
計	143	145	151	153

(4) 人材育成

①研修の実施状況

【職場内研修】

研 修 名	実施時期	目 的
人権研修	2025年8月	人権問題への気づき、理解を深める
管理職メンタルヘルス研修	2025年12月	職員の心身のラインケアを促進する
新人・若年等メンタルヘルス研修	2026年1月	ストレスに対するセルフケアを促進する
コンプライアンス研修	2026年3月	コンプライアンスの徹底・意識強化

【外部研修派遣】

ビジネス研修(新人)、管理職研修(新任 他)、地域創造ステージラボ(ホール入門)、舞台芸術セミナー、JCCB人材育成研修、公益法人会計研修、労務管理研修、あいサポーター研修 等

(5) 法人の運営体制の充実を図るための取組

- ①外部理事・監事については、鳥取県のコンベンション振興を図る上で有効となる幅広い団体の有識者より選任し、財団の機関紙やイベントガイド及びコンベンション参加者アンケートや経済波及効果推計結果等を定期的に情報提供している。
- ②業務の執行にあたっては、定期的に鳥取県及び県内四市の観光等行政所管課と協議の場を設け、事業進捗報告を行い、より公益実効性を高められるよう助言を得て進めた。

(6) SDGsの推進

- ①コンベンションセンター周辺美化活動の実践(毎週月曜)、中海アダプトプログラム(年3回)の環境保全、地域美化活動への参加
- ②鳥取県版環境システム(TEASⅡ種)への登録により、ゴミの削減等環境に配慮した財団及び施設運営の推進
・とっとりライトダウン 2025 への参加
- ③「とっとりSDGsパートナー」制度への登録による、グリーンコンベンションや男女共同参画等の取り組みの推進

2 誘 致 事 業【公益目的事業1コンベンション誘致による地域振興事業〈1〉、〈2〉】

学術、一般、スポーツについては1,000人以上の大型コンベンションが前年度より大幅に増え、件数は対前年比約15%、参加人数は対前年比約35%の増加となり、目標としたコロナ前水準に達した。一方で企業、MICE、合宿に関しては大規模案件の減少や宿泊施設の減少、バス代高騰といった環境変化の影響もあり、目標には達しなかった。次年度以降については、2,000人を超える大型コンベンションが相次いで開催決定しており、新規開催の動きは活性化してきている。

コンベンション誘致支援実績

区 分	件数		参加人数	
	2025 年度	2024 年度	2025 年度	2024 年度
学 術	38	40	13,681	7,778
一 般	52	38	15,083	8,988
ス ポ ー ツ	55	40	28,489	21,449
企 業	2	3	160	1,846
M I C E	19	17	613	2,196
合 宿	71	63	5,970	5,874
計	237	201	63,996	48,131

コンベンション誘致進捗状況（2026年度以降開催分）

区 分	2026 年度		2027 年度		2028 年度以降	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
学 術	48	15,850	13	9,160	9	8,650
一 般	49	15,677	17	11,100	11	7,700
ス ポ ー ツ	57	30,638	5	2,600	3	2,000
企 業	1	150	0	0	0	0
M I C E	0	0	0	0	0	0
合 宿	1	300	0	0	1	300
計	156	62,615	35	22,860	24	18,650

※ コンベンション誘致支援状況の詳細は資料2、3 のとおり

2025年度に開催決定した主なコンベンション

開催年月	大会名称	参加者数	区分	開催地	主会場
2026年6月	SUN-INアジアンピアド倉吉大会	1,400	スポーツ	倉吉市	倉吉パークスクエア及び周辺コース
2026年8月	JVA 第45回全日本バレーボールクラブ選手権大会9人制男子	700	スポーツ	鳥取市	ヤマタスポーツパーク鳥取県民体育館、鳥取産業体育館、倉吉体育文化会館
2026年8月	第56回全国中学校相撲選手権大会	600	スポーツ	倉吉市	鳥取県立倉吉体育文化会館
2026年9月	第111回全日本美容講師会 TM モード発表会	1,000	一般	米子市	米子コンベンションセンター
2026年10月	第63回全国ハイヤー・タクシー事業者大会	400	一般	鳥取市	とりぎん文化会館
2026年10月	第39回日本グラウンド・ゴルフ協会全国交歓大会	900	スポーツ	鳥取市	ヤマタスポーツパーク陸上競技場他
2027年9月	第40回日本サイコオンコロジー学会総会	1,000	学術	米子市	米子コンベンションセンター、米子市文化ホール
2027年10月	第49回日本手術医学会総会	1,200	学術	米子市	米子コンベンションセンター、米子市文化ホール
2027年10月	第65回全国自治体病院学会	3,000	学術	鳥取市	とりぎん文化会館
2028年3月	第55回全国高等学校選抜バドミントン大会	1,000	スポーツ	鳥取市	ヤマタスポーツパーク鳥取県民体育館、鳥取産業体育館、鳥取市民体育館
2028年3月	第38回日本間脳下垂体腫瘍学会	500	学術	米子市	米子コンベンションセンター
2028年7月	コンクリート工学年次大会 2028(米子)	3,500	学術	米子市	米子コンベンションセンター、米子市文化ホール
2028年9月	第142回触媒討論会	1,000	学術	鳥取市	鳥取大学鳥取キャンパス
2028年10月	第54回技術士会全国大会	700	学術	米子市	米子コンベンションセンター、米子市文化ホール
2029年11月	第81回中小企業団体全国大会鳥取大会	2,000	一般	鳥取市	とりぎん文化会館
2029年11月	第74回日本生殖医学会学術講演会・総会	1,500	学術	米子市	米子コンベンションセンター、米子市文化ホール

(1) 誘致活動

商談会参加や個別訪問、メール、オンライン等で首都圏や県内の学術会議・業界団体会議・スポーツ大会のキーパーソンに対し誘致交渉を行った。合宿や海外インセンティブツアーに対してはエージェント営業を行い、支援制度や県内受入体制をPRした。

①誘致交渉件数実績

※メール、オンライン等での交渉を含む。

地域	交渉先区分 ※延べ件数					計
	学術	一般	企業	スポーツ	旅行代理店	
県内	150(132)	126(109)	4(2)	88(71)	0(0)	368(314)
県外	83(125)	71(97)	9(8)	30(25)	10(9)	203(264)
国外	0(0)	0(0)	0(5)	0(0)	39(56)	39(61)
計	233(257)	197(206)	13(15)	118(96)	49(65)	610(639)

※()内は前年実績

②県人会等を通じた情報収集及び人脈構築

参加会員に対しコンベンションの開催効果をPRし、大会・会議の鳥取県での開催と各種情報提供を要請した。

(ア)東京鳥取県人会総会・懇親の集い 10月13日(月・祝) 東京【都市センターホテル】

③コンベンション開催意向調査

県内主催者を対象に、コンベンションの県内開催の意向及び関係諸団体の全国大会等の開催状況についてアンケート調査を実施した。

* 2025年度コンベンション開催意向調査実施先 7月実施

鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、県内各種団体、県内主要コンベンション施設、県・市町村観光担当課等 (635団体・施設に送付しそのうち回答は111件)

新規案件70件

④各種協議会への参加

(ア)JCCB(日本コンGRES・コンベンション・ビューロー) 総会 6月23日(月) 東京都

JCCB創立30周年記念式典 7月29日(火)～30日(水) 千葉市

第1回JCCBコンベンションビューロー部会 1月22日(木)～23日(金) 佐賀市

(イ)中国・四国地区コンベンション推進協議会総会 7月3日(木)～4日(金) 徳島市

(ウ)4都市(鳥取、浜松、長野、福井)コンベンションビューロー連携会議 2月13日(金) 東京都

⑤各種商談会への出展

(ア) Japan Sports Week 2025

スポーツチーム・アスリート向け総合展である同展示会に初出展した。「大会・合宿地ゾーン」にて、鳥取県スポーツ課及び県内関連事業者とともに競技施設や開催支援情報を発信し、スポーツ大会及び合宿の誘致を行なうとともに競技団体等の情報収集を行った。

開催日	2025年6月25日(水)～27日(金)
会場	東京ビッグサイト 南展示棟
商談件数	123件(うち有効商談件数19件)

(イ) 中国・四国地区コンベンション誘致懇談会

中国四国地区コンベンション推進協議会共催により、首都圏所在の主催団体及び関係者を招き、ビューローの支援内容、本県のコンベンション施設・観光をPRし、新規顧客開拓を実施した。

開催日	2025年12月16日(火)
会場	東京都立産業貿易センター浜松町館
商談件数	25件(うち有効商談件数12件)

(ウ) 第34回国際 MICE エキスポ IME2026

JCCB、JNTO 主催の MICE 商談会に参加し、コンベンション主催団体等との商談を行い、鳥取県での開催を働きかけた。

開催日	2026年2月12日(木)
会場	東京国際フォーラム
商談件数	19件(うち有効商談件数17件)

(2) 開催支援事業

コンベンション誘致を促進するため、県内で開催される大会・会議に対して主催者を支援する各種サービスを提供した。

①コンベンション開催助成金

(単位:件)

開催地	助成額 (千円)	0～ 100	101～ 200	201～ 300	301～ 400	401～ 500	501～ 1,000	1,001 ～ 2,000	2,001～	計	交付金額 (千円)
鳥取市		5①	5①	1		1	2	2		16	7,518.5
倉吉市		4②	4	2						10	1,343

開催地	助成額 (千円)	0～ 100	101～ 200	201～ 300	301～ 400	401～ 500	501～ 1,000	1,001 ～ 2,000	2,001～	計	交付金額 (千円)
米子市		5①	8	1	1		3	2	2	22	16,996.5
若桜町		7	3	2						12	1,256
三朝町		5①	3							8	732
湯梨浜町		7①	4							11	1,046.5
伯耆町		1①								1	29
大山町		11	2				2			15	2,393
南部町		1								1	63.5
岩美町		1								1	60
日南町		1								1	100
計		48	29	6	1	1	7	4	2	98	31,538

※ 県外参加者の延宿泊数に応じて助成金を交付。

※ 2市町で併催のものが4件あるため、実開催件数は94件。丸数字は併催。

②コンベンションへの物的支援等 * 2025年度 財団関与対象コンベンション 237件

支援内容	件数	適用
歓迎看板等の掲出	99 (71)	空港・駅・会場
コンベンションバッグの提供	99 (63)	
観光パンフレットの提供	109 (67)	県・各市町パンフレット、グルメガイド等
文化・観光施設割引券(WEB版)の提供	107 (64)	チラシ、ポスターによる告知
地元特産品の提供	46 (43)	地酒、すいか、菓子等
その他サービス提供	15 (27)	観光ガイド、アトラクション等
物産販売軒数	8 (9)	
観光案内コーナー設置	6 (6)	

※()内は前年実績

(3) 調査企画事業

①コンベンション参加者アンケート調査

コンベンション参加者を対象に鳥取県についての意見・感想、支出経費等について、アンケート調査を実施した。集計結果を関係各所に広くフィードバックすることにより、ホスピタリティやMICEに対する意識の向上に努めた。

* 2025年度アンケート調査

実施方法	アンケート用紙配布(Webによる回答併用)
実施コンベンション件数※	22件
アンケート対象人数	14,226人
回収件数	1,515件
平均回収率	10.6%

※実施コンベンション件数は有効回答があった件数。

②経済的波及効果の推計調査

コンベンションに対する県民の理解を深め、大会・会議等の誘致機運とホスピタリティの高揚を図るため、コンベンション開催による経済的波及効果を推計調査した。

③コンベンション情報説明会・交流会の開催

本年開館した鳥取県立美術館を活用し、コンベンション主催者と地元関連事業者とのネットワーク交流及び新たな形の懇親会の提案を目的とした情報説明会及び交流会を実施した。県内食材を使った料理や地酒・地ビール、地元演奏家による弦楽演奏を提供し、ユニークベニュー推進の機運醸成に繋げた。

名 称	鳥取県立美術館ユニークベニュー懇親会デモンストレーション
開 催 日	2025年5月23日(金)
会 場	鳥取県立美術館1階ひろま
参 加 者	103人(コンベンション主催関係者、賛助会員、関連事業者等)

※(一社)倉吉観光MICE協会と共催

(4) 広報宣伝事業

①ホームページ等による情報発信

コンベンション開催情報や開催支援制度、県内のコンベンション及びスポーツ施設等の情報を主催者、関係諸団体に提供した。また、短編PR動画を盛り込んだ観光・イベント等情報集約サイト「とっとり・楽しいガイド」の運用により、大会・学会ホームページを通じ、参加者へ県内情報を発信し、滞在・周遊の促進を図った。

- ・2025年度来訪者数 25,517件(前年23,288件)
- ・2025年度ページビュー数 60,767件(前年66,439件)

②機関紙の発行

コンベンション開催情報等を掲載した機関紙「Heart Field TOTTORI」を発行した。

- ・発行月 年3回(7月、10月、3月)
- ・発行部数 2,000部(1回あたり)
- ・配布先 県内コンベンション主催者、賛助会員、コンベンション施設、行政機関(県市町村)、文化観光関連団体、交通機関、商工会議所、マスコミ等

③広報宣伝記事等の掲載

- ・「合宿情報冊子:ザ・合宿、合宿情報サイト:マジキャン」等 広告掲載 6件
- ・「とっとりコンベンションビューロー設立 30 周年記念紙面座談会」日本海新聞 10 月 31 日掲載
原田省氏(国立大学法人鳥取大学学長)、小谷文夫氏(公益社団法人鳥取県観光連盟会長)
石村隆男理事長

④文化・観光施設優待割引券(WEB 版)の作成

コンベンション参加者のアフターコンベンションの誘発効果をねらうため、県内主要観光施設、文化施設の優待割引券(WEB 版)を、コンベンション参加者に提供した。会場でのポスター・チラシによる周知の他、事前に学会・大会のホームページを通じ、「とっとり・楽しいガイド」サイトよりダウンロードできるようにした。

- ・掲載施設 49 施設(東部 18、中部 9、西部 22)

⑤大会歓迎ステッカー等の作製・掲出

コンベンション参加者への歓迎と地域住民へのコンベンション開催周知のため、歓迎ステッカー及びタクシーステッカーを作成し、開催期間中各商店街・賛助会員店等の店頭並びにタクシーに掲出した。

- ・作成部数 歓迎ステッカー 10 件 2,500 部、タクシーステッカー 4 件 800 部

3 米子コンベンションセンター管理運営事業(指定管理事業)【公益目的事業1<3>、<4>】

2025 年度の管理運営にあたっては、公正・公平な利用機会、安全・安心で快適な利用環境を提供し、交流人口の増加へ繋がる利用促進を継続して行うとともに、施設の特性を活かした様々なジャンルの自主企画事業を実施し、センターの設置目的である地域経済と文化の振興の推進、にぎわいの創出を図った。

利用状況については、目標指標として掲げている施設稼働率(75%)、利用者数(30 万人)、利用料収入(1億円)をすべてクリアするなど、非常に好調な利用実績を上げることができた。その要因としては、インターハイ(ウエイトリフティング)、大規模学会等の全館複数日利用催事の開催やコンサートの増加等によるもので、利用料収入は過去最高額の 1 億 2 千万円、利用者数は開館以来 2 番目の 34 万 2 千人に達した。

	年 間 利 用 者 数	年 間 利 用 料 収 入
年 間 目 標	300, 000 人	100, 000, 000 円
実 績	342, 203 人	121, 317, 800 円
(2024 年度実績)	(325, 642 人)	(101, 647, 200 円)

(1) 施設の利用状況

①施設の利用実績(利用日数、稼働率)

施設名称	2025 年度			2024 年度
	利用可能日数 A (日)	利用日数 B (日)	稼働率 B/A (%)	利用日数／稼働率 (日数)／(%)
多目的ホール	284	185	65.1	164／60.5
小ホール	308	246	79.9	256／82.1
国際会議室	303	223	73.6	212／68.2
会議室	2,475	1,918	77.5	1,951／75.5
計	3,370	2,572	76.3	2,583／74.3

※会議室は改修工事に伴う利用不可日が延べ 220 日あった。(注)・利用可能日数＝年間日数－設備保守点検日数
・利用実績の推移は資料 4 のとおり

②減免利用実績(件数、金額)

	2025 年度				2024 年度
	文化団体	学校行事	障がい者団体	計	計
件数	53	12	193	258	298
計	1,385,530 円	4,716,400 円	2,246,700 円	8,348,630 円	9,346,070 円

③催事種類別件数実績(会議室を除く)

()内数字は前年度実績

催し物類型	2025 年度			
	施設内訳件数			
	多目的ホール (ホワイエのみ含む)	小ホール	国際会議室	計
集会	43 (38)	94 (97)	94 (101)	231 (236)
展示	18 (16)	0 (0)	8 (7)	26 (23)
音楽	23 (16)	52 (60)	0 (1)	75 (77)
芸能	12 (8)	20 (19)	5 (4)	37 (31)
その他	0 (5)	22 (23)	2 (1)	24 (31)
計	96 (83)	188 (199)	109 (114)	393 (398)

(2) 利用者サービス

① サービスプランの利用実績

サービスプラン名	2025 年度実績		2024 年度実績	
看板作成サービス	12 件	55,230 円	8 件	40,690 円
大会運営用品貸出サービス	10 件	95,100 円	10 件	115,400 円
ごみ回収サービス	51 件	274,040 円	35 件	208,320 円
国際会議室らく得パック	52 件	1,640,120 円	61 件	1,935,460 円
館内LAN配線サービス(インターネット専有)	18 件	332,640 円	25 件	462,000 円
多目的ホール楽得展示パック	15 件	785,700 円	2 件	104,760 円
小ホールピアノセットプラン	20 件	110,000 円	21 件	121,000 円
その他のプラン	14 件	391,880 円	9 件	179,240 円
計	192 件	3,684,710 円	171 件	3,166,870 円

② 利用者ニーズの把握

(ア) 実施状況

時 期	項 目	概 要	実績
2025.4～2026.3	アンケート調査	・利用後のアンケートを主催者に依頼し、意見・要望を聴取。サービスの改善や職員の接遇向上にも反映させた。また、その対応状況については、毎月ホームページで公開した。	3,029 件
2026.1.29	利用者懇談会	団体顧客を対象に利用者懇談会を開催し、意見、要望を聴取。サービスに反映するとともに課題を検討した。	6 団体 (7 名)

③ 利便施設の設置・運営

・地域情報 PR「ブラリズム地域情報コーナー」

県内外から訪れる来館者に向け、地域の成り立ちを踏まえた観光・物産・伝統工芸等の情報を紹介する PR コーナーを設置した。

協 力：大山山麓・日野川流域観光推進協議会、鳥取県市場開拓局(民工芸振興担当)、鳥取県税務課(ふるさと納税担当)

・ビジネスコーナー…コピー・FAXのほか、ビジネス用デスクを設け、パソコンとプリンターを有料で利用できるコーナーを設置した。

・チケット・書籍販売…鳥取県内で開催されるイベント等チケットの委託販売を請け負い、来館者への販売を行った。また、地域の歴史、文化等に関する各種書籍の取り扱い販売を行った。



(3) 利用促進

① 営業活動実績

催事終了後に主催者への訪問、電話等によるフォローを実施し、現状や再利用への課題等の聞き取りに努めるとともに、新規営業活動等を行った。

新規案件営業	新規主催者および新規催事	27 件
既存営業	アフターフォロー、次回利用提案など	27 件
計		54 件

(4) 広報関連

① イベントガイドの発行による催事情報を発信(毎月 20 日・3,000 部)。

② 中海テレビの文字放送番組「生活チャンネル」(毎日放送)にて催し物情報を放映。

③ 公式ホームページのほか、SNSによる自主事業や各種催事情報等のタイムリーな情報発信

総フォロワー数 (Instagram 1,550 人、X 598 人 3 月末日現在)

④施設見学・学習会の実施

- ・大人の社会科見学ツアー(床機構等見学)
8月19日(火) 公募による一般参加者 15名
- ・公共施設見学(小学校生活科学習)
10月30日(木) 義方小学校2年生 63名
- ・ユニバーサルデザイン・バリアフリー見学
1月26日(月) 就将小学校5年生 62名



(5) 地域連携

- ①行政や地域の様々な団体が参加する「農と食のフェスタinせいぶ」や「よなご公共交通ふれあいフェスタ」等の開催に協力し、玄関前広場の活用や催事サポートを通じて交流人口の増大と地域のにぎわい創出を図った。
 - ・「農と食のフェスタinせいぶ」 10月18日(土)・19日(日) 来場者数: 58,000人
 - ・「よなご公共交通ふれあいフェスタ」 11月16日(日) 来場者数: 4,700人
- ②「Yonagoヒカリ☆マチプロジェクト」実行委員会に参画し、期間中、当センターをライトアップした。
夏:7月19日(土)～8月31日(日) 冬:11月28日(金)～1月31日(土)
- ③社会貢献活動として、各種団体等の要請により、当センターをライトアップし、各種啓発運動等に協力した。
【鳥取県自閉症協会】世界自閉症啓発デー(ブルーライトアップ)等 11件

(6) 施設管理

アクションカードによる実用的な訓練を実施し、危機管理の強化を図った。また、保守点検の徹底、故障又は故障の恐れがあるものに対して早期修繕・予防保全を実施し、利用者に快適な空間を提供した。

項 目		概 要
危 機 管 理	避難誘導訓練 (年2回実施)	・アクションカードを活用した実践形式に近いシナリオ非提示型の地震・火災避難誘導訓練を実施した。(入居団体、常駐委託業者も参加) - また、訓練開始時間を公開せずに実施し、緊急時の対応力向上に努めた。(1月6日発生の鳥根県東部を震源とする地震(震度5弱)において、アクションカードによる避難誘導訓練で実施してきた対応を適切に実行することができた。)
安全・快適な施設づくり		・徹底した日常点検及び定期点検結果を踏まえて、設備のトラブル発生を未然に防ぐ予防保全を積極的に行った。 ・警備員の日常巡回を施設内に併せて外回りも実施し、敷地内に限らず、周辺環境の安全管理を強化した。 ・清掃、常駐管理、安全管理等の委託業者と定期的な連絡を密に行い、情報と課題の共有を図り、良好な施設環境づくりに努めた。 ・就労支援継続事業所に芝散水業務、落ち葉清掃業務を発注し、障がい者の施設外就労による社会参加の促進に寄与した。

(7) 自主企画事業

①ぶたいでA・SO・BO!

幼稚園から小学生を対象に、舞台上で即興で作り出される音に合わせ、身体で表現することの面白さ・喜びを知ってもらう場を提供。また、小・中学生を対象に、舞台照明・音響機材に触れて学ぶ機会を同時に設け、当センターを身近に感じてもらうとともに、未来の文化芸術の活動者・鑑賞者の育成に繋げるよう努めた。

開 催 日 : 5月25日(日)

開催場所 : 多目的ホール

コディネーター : 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
木野彩子准教授

参加者数 : 年長～小学校低学年 51名(大人含む)、
中学生～大学生 1名



②米子市音楽祭『GAINA JAM』

米子市文化財団と連携し、地域で活動する音楽団体の発表する機会と、地域の方々の鑑賞の場を作り、音楽を通じて地域文化の活性化を図った。当センターの特性を活かし、平土間エリアに飲食ブース等を併設することで、幅広い年齢層への参加拡大とにぎわい創出に繋がった。

開催日：6月29日(日)

開催場所：多目的ホール 他

内容：ステージ出演 25 団体、飲食ブース、雑貨販売、体験など

入場料：500 円(高校生以下無料)

来場者数：1,211 名



③ビッグシップアートクルーズ (Bigship Art Cruise)

県内外で活躍する地域ゆかりのアーティストらがコラボレーションするコンサート等を企画し、アーティスト同士の交流を促進するとともに、アーティストと地域住民の出会いの場を創出した。

・『声と弦が奏でる豊かな音の世界』

開催日：9月10日(水)

開催場所：多目的ホールホワイエ

内容：声楽×チェロ×ピアノ

メゾソプラノ：久光 美早紀

チェロ：中嶋 寄恵

ピアノ：遠藤 桃子

入場料：1,500 円(ワンドリンク、スイーツサービス付)

※高校生以下 500 円

来場者数：131 人



・『ブラスとピアノのジャズナイト』

開催日：12月16日(火)

開催場所：多目的ホールホワイエ

内容：トランペット×トロンボーン×ピアノ【ジャズ】

トランペット：筒井奏子

トロンボーン：西山友望

ピアノ：片桐一篤

入場料：1,500 円(ワンドリンク、スイーツサービス付)

※高校生以下 500 円

来場者数：203 人



④ビッグシップ航海デー『SUN-IN ハンドメイドフェスタ 2025』

山陰地域で最大規模の手づくり市「ハンドメイドマーケット」として、地域で活動している手づくり作品を中心とした様々なジャンルにわたるクリエイターや団体の交流の場を提供するとともに、地ビールフェスタ米子をはじめ、飲食店等の出店も募り、地域との連携を通じたにぎわい創出を図った。第10回目となる本年度は、県内外からの更なる集客に繋げるため記念イベントを併催し、自主事業としては過去最高となる 6,000 人の来場者数となった。

開催日：11月30日(日)

開催場所：多目的ホール、国際会議室、玄関前広場 ほか

出展数：ハンドメイド部門 90 ブース

リラクゼーション部門 18 ブース

飲食部門 22 ブース

10 周年記念イベント

山陰ウーマンズラボ企画「ラボフェス トークショー」

山陰放送ラジオ特別番組公開生放送

米子市文化財団企画

「ダンスフェスワン公開オーディション」

来場者数：6,000 人



⑤ビッグシップイルミネーション『光のナイトセーリング』

隣接する米子市文化ホールと一体となったイルミネーションを設置し、地域のにぎわいを創出した。また、ビッグシップアートクルーズとの融合により相互の演出効果を高めた。

開催日：11月28日(金)～1月31日(土)

開催場所：敷地内樹木、ホール棟、会議棟

⑥アート遊歩道

小ホールに続く屋内通路を有効活用し、地域で活動する文化団体等に対して作品発表の場を提供し、広く来館者に紹介した。(開催件数：2件 来場者数：7,300人)

4 地域振興事業基金事業【公益目的事業1〈3〉、〈4〉】

米子コンベンションセンター地域振興事業基金を活用し、コンベンションによる地域振興を目的とした以下の事業を実施した。

(1) 地域のコンベンション振興に資する事業

①利用団体支援事業「利用者支援事業助成金」

当センターを利用する展示会や各種イベントのうち、所要の条件を満たす利用団体に対し、施設利用料の一部を助成する開催支援を行った。より多くの来場者が期待でき、周辺への波及効果が高い大規模展示会、イベント等の新規開催等を後押しすることで、周辺のにぎわい創出、地域経済の活性化に繋げるとともに、センターの利用促進及び利用者の増加を図った。

対象施設：多目的ホール、国際会議室

内 容：a にぎわい創出助成金

新規又は過去2年間以上利用がない催事

インセンティブとして2回目、3回目と継続利用した場合に助成金を増額

b 長期利用者助成金

連続して3日以上利用の催事（上限7日間）

内 容	件 数	助成金額
にぎわい創出助成金	6 件	1,246,000 円
長 期 利 用 助 成 金	7 件	570,000 円
合 計	13 件	1,816,000 円

(2) 文化振興及び地域の活性化を目的としたにぎわい創出事業

米子コンベンションセンター自主企画事業に基金より1,600千円を充当した。

(3) センターの運営・機能充実に資する事業

①米子コンベンションセンターオンライン仮予約システムの構築

センター利用者の利便性と業務の効率化を図るため、ホームページ上にオンライン仮予約システム「ビッグシップナビ」を構築した。(テスト運用終了後、2026年5月末より運用開始予定)

②省エネ AI 導入に係るシステムの構築

施設の空調に係る電気代削減を効率的に行うため、省エネ AI による監視制御プログラムを開発導入した。

9月末よりテスト稼働を開始し、2026年1月から2月の暖房期間において、空調設備の電気使用量は18%～27%の削減が確認された。次年度、冷房時期におけるテスト稼働を実施し、削減効果の精度向上および通年度の有効性検証を行った上で、ライセンス契約を締結し本稼働を開始する。

2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2026年5月

公益財団法人とっとりコンベンションビューロー